

Innovation Idea Contest(IIC)2025

募集要項

<医歯学系限定>

旧東京医科歯科大学の部局に所属する研究者・学生を対象とします。

目次

1. 募集概要	p.2
2. 事業の趣旨	p.3
3. 募集・選考	p.4
4. 採択後の研究開発推進	p.12

問い合わせ先
医療イノベーション機構パートナー戦略室
ギャップファンド事務局
松浦・蓮香・川上 openinnovation.tlo@tmd.ac.jp 03-5803-4736

1. 募集概要

- 東京科学大学医歯学系（旧東京医科歯科大学、以下同じ）ではスタートアップの支援を拡充するため、2025年度中に以下のGAPファンドを計画しています。

プログラム名称	2024（終了）	2025
Innovation Idea Contest2025	—	50～200万円×最大10件
M&Dファンド	（終了） 上限300万円×3件	上限300万円×5件

- 本募集要項は「Innovation Idea Contest2025」について記載しています。M&Dファンドについては、募集要項が異なりますので、[プログラム紹介WEBSITE](#)からご確認ください

2. 事業の趣旨

- 東京都は、「未来を切り拓く10x10x10のイノベーションビジョン」を掲げ、グローバルに活躍するスタートアップの創出や、スタートアップの裾野拡大を目指しています。その取組の一つとして、知の拠点である大学が集積する東京の強みを活かし、研究シーズやアイデア等の事業化をサポートする「大学発スタートアップ創出支援事業」に、令和6年度に本学（旧東京医科歯科大学）の取組みも後述の事業化促進型として採択されました（旧東京工業大学では令和5年度に採択）。
- 大学発スタートアップ創出に向けた知見やノウハウを有するコーディネーター（※）が、東京都と連携し、採択された個別大学への伴走支援及び幅広く都内の大学等を対象とする支援プログラムを実施します。

（1）伴走支援

以下の2つのタイプを設定し、採択された各大学等の実情に応じ、必要な支援を実施します。

- ① 事業化促進型：大学等のシーズを活用した新事業の創出に向けた支援（本学が採択されたタイプ）
- ② 環境構築型：大学等のシーズを活用した起業・新事業創出を促進する学内の仕組みづくり・体制整備等に対する支援

（2）支援プログラム

採択された大学等以外も含め、広く都内の大学等を対象に、大学発スタートアップ創出支援に必要な知識やノウハウを提供する講座、大学間のネットワーキング等の支援プログラムを実施します。

※ コーディネーターについて：本事業の実施に当たり東京都と連携して大学等に支援を行う事業者です。外部有識者等で構成する選定審査委員会において、[ReGACY Innovation Group株式会社](#) が選定されました

3. 募集・選考

3-1. 対象・資格等

募集対象

東京科学大学医歯学系（旧TMDU）において、
医療・ヘルスケア分野で将来の起業や企業連携のシーズテーマとなり得る
社会実装を意識したアイデア

代表者 参加資格

東京科学大学医歯学系（旧TMDU）に所属する教職員・学生

- ※個人・チーム・役職は不問
- ※学生が応募する場合は、メンターとなる教員を指名
- ※客員研究者・非常勤講師は不可
- ※共同提案者は理工学系でも可、役職不問

支援内容

- 50～200万円×最大10件（直接経費）
- 優秀賞には＋副賞「NIPPON INNOVATION AWARD」シード権（予定）
- VCと連携した副賞を予定

研究開発期間

2025年8月（予定）～2026年3月31日（終了日はずれません）

応募の制限

資金使途が同一でなければ、他の助成金、補助金、ファンド等の
同時実施による制限はなし

3-2. スケジュール

公募説明会（オンライン）

4月25日（金） 18時～19時30分

エントリー期間

4月25日（金）～5月18日（日） 23時45分

1次審査結果発表

6月上旬

MEETUP（実地）

6月13日（金） 17時～18時@HTDラボ（病院B1）

メンタリング期間

6月13日（金）～7月10日（木）

ピッチ審査会

7月11日（金） PM オンライン

最終審査結果発表

7月中旬

研究費執行期間

8月（予定）～2026年3月末

3-3. 研究開発費の考え方

- 本事業の対象となる経費は、採択を受けた研究プロジェクトを推進するために必要な研究開発費です。
- 研究開発費は、研究開発に関わるもののみを対象とします。
- 経費の取扱いについては、東京科学大学の規程に従って適切に管理・執行してください
- 東京都による実地検査が実施される可能性がありますので、本学事務担当部局と協力し、執行した予算の証憑書類の適正な整理・管理を行ってください。
- チームでの応募の場合、応募代表者が所属する分野に配分します
- 学生の採択者は、メンターとなる研究者が所属する研究室に配分します（※学生の採択者でメンターが不明な場合は、アイデア試行に伴走してくれる分野の探索を事務局がサポートいたします）

3-4. 応募方法

公募説明会（オンライン）

4月25日（金） 18時～19時30分

必要に応じて、代表者または共同提案者が出席してください



エントリーシート作成

エントリーシートは[こちらのWEBSITE](#)から取得してください



エントリーフォームへのアップロード

締切 5月18日（日） 23時45分

上記で作成したエントリーシートをWEBSITE内のフォームに提出してください

<記入に関する注意>

- 審査委員は、専門領域“外”の方です。専門分野に詳しくない方でも理解できるよう、出来るだけ簡潔にご記入頂くようご配慮ください。
- 応募書類ならびに動画には未発表の重要な情報（特に特許取得または論文発表に必要なもの）は記載しないでください
- 知財の可能性がある場合は（既に試作品を作り始めている場合等）、エントリー前に事務局に相談してください
- 提案内容は、提案者または共同提案者独自のものに限り、他者のアイデア等の流用ではないことを確認してください
- 提案内容とコンフリクトが生じる基金や助成、ファンド、団体、企業ほか提出されていないものに限りです
- 本試行支援費を用いて行う研究や検証は学内で実施してください
- 提案内容により、倫理委員会をはじめとする各種委員会への申請・届出を依頼することがあります
- 企業と共同研究を開始しているものは対象外とします

3-5. 審査について

1次審査：書面

- ❑ 1次審査は、本学が任命する起業サポーター（外部有識者）によって実施します。
- ❑ 1次審査の結果は、プログラム事務局から全ての申請者に通知します。
- ❑ 1次審査通過者は、最終審査（ピッチ）に向けてメンター（外部有識者）が3週間の伴走支援を実施します。6月13日（金）のMEETUPでメンターとの顔合わせを実施しますので、メンタリングを受け、最終審査へ向けたアイデアのブラッシュアップを実施してください

最終審査：ピッチ（オンライン）

- ❑ 最終審査は、オンライン（使用するオンライン会議ツールはZOOMを予定）にて実施します。
- ❑ 審査委員により、面接審査を実施します。面接審査には代表者（又は主たる共同提案者）が出席し、技術内容や社会実装に向けたアイデアについてご説明をいただいた上で審査委員からの質問に回答いただきます。
- ❑ 発表は、1人10分（6分間のプレゼンテーション、3分間の質疑応答、1分間の入れ替え）で構成されます。
- ❑ 最終審査の結果を踏まえ、審査委員から構成される審査委員会において採否を決定します。全ての申請者に プログラム事務局から審査結果を通知します。

3-6. 選考の観点

本募集の審査にあたっては、提案された個別の審査項目に関する審査の観点を以下のとおりとし、これまでの取組の実績及び今後の方針等を踏まえた社会実装・事業育成の実施可能性等について評価を行います

1次審査：書面

- 捉えている課題および解決策の斬新さ（新規性）
- 社会へのインパクト（取り組む意義）
- 自分の思いの強さ（パッション）

最終審査：ピッチ（実地）

1次審査の評価軸に加え、以下3つの評価軸について評価を行います

- ScienceTokyo医歯学系が主導して取り組む意義
- 市場性・顧客のサイズ
- 競合優位性

3-7. 利益相反マネジメントの実施

公正で透明な評価及び研究資金配分を行う観点から、以下の利益相反マネジメントを実施します。

選考に関わる者の利益相反マネジメントとして、公正で透明な評価を行う観点から、申請者等に関して下記に示す利害関係を有する者は選考に加わりません。もし、選考に関わる者について懸念点等ある場合は、申請書に具体的に記載してください。

- 申請者等と親族関係にある者。
- 申請者等と同一の学科、専攻等に所属している者。
- 申請者等と緊密な共同研究を行う者。(例えば、共同プロジェクトの遂行、共著研究論文の執筆、同一目的の研究メンバー、あるいは提案者の研究課題の中での共同研究者等をいい、提案者と実質的に同じ研究グループに属していると考えられる者)
- 申請者等と密接な師弟関係あるいは直接的な雇用関係にある者。
- 申請者等の研究課題と学術的な競争関係にある者又は市場において競争関係にある企業に所属している者。
- その他プログラム事務局が利害関係者と判断した者

4. 採択後の研究開発推進

4. 採択後の研究開発推進と留意事項、情報管理について

- ❑ 採択課題の実施において、tipシェアラボ利用について優遇させていただきます。
- ❑ 産学連携促進等の目的で開催するイベントで登壇をお願いすることがあります。
- ❑ 研究開発費の執行については、研究費が税金で賄われていることを十分に認識し、公正かつ効率的に執行してください
 - ・ 公募要領等の要件及び本学の規程を遵守
 - ・ 研究開発費は税金で賄われていることを理解の上、研究開発活動における不正行為（捏造、改ざん及び盗用）、研究費の不正な使用などを行わない。
- ❑ 課題の進捗等に関する東京都等への報告、各種調査への対応、その他事業を円滑に実施するうえで東京都が指示する対応を実施する場合があります。
- ❑ 本要項に記載がない事項は、原則として本学の規程に従います。

【提案内容の管理】

- ❑ 提案内容は、IICの審査委員、本学の産学連携関連委員会ⁱ⁾の委員ならびに外部評価者ⁱⁱ⁾にのみ開示し、その他の学内/学外の第三者には提案者の事前の同意がない限り開示しない
 - i)医療イノベーション機構における会議 等 ii)本件に係る秘密保持誓約書を提出した本学連携先の企業
 - ❑ 提案内容を開示された者は、情報を他者に一切伝えない。また、提案者の許可を得ず、情報を他の目的に利用しない
 - ❑ 提案内容は提案者に帰属し、ScienceTokyoならびに提案を開示された者に帰属しない
- ＜ 申請者が学生の場合 ＞
- ❑ IICに採択され、採択されたアイデアを起点に企業と共同研究等を実施する場合は、メンターとなる教職員と共同で実施すること
 - ❑ 本研究開発費に基づき企業と共同研究等を実施する場合は、「学生の共同研究への参加に関する誓約書」を提出いただく必要があります。詳細につきましては、IIC事務局までお問い合わせください。